



「みんなの地球のためにチャレンジ！カーボンニュートラルやまがた県民運動」について

資料 8 - 1

山形県内の温室効果ガス削減率（第4次山形県環境計画より）

H25(2013)年度
〈基準年〉

R2年度
▲25.8%

R3年度
▲22.7%

R4年度
(2022)
▲27.7%

R12年度(目標)
(2030)
▲50%

R32年度(目標)
(2050)
▲100%

ゼロカーボン
やまがた
2050

1. カーボンニュートラルやまがた県民運動

(1) 概要

県民一人ひとりが身近なところから、できることからカーボンニュートラルに向けたアクションにチャレンジし、「豊かで美しい山形県」を将来の世代に継承していくための県民総ぐるみの運動

(2) 推進体制

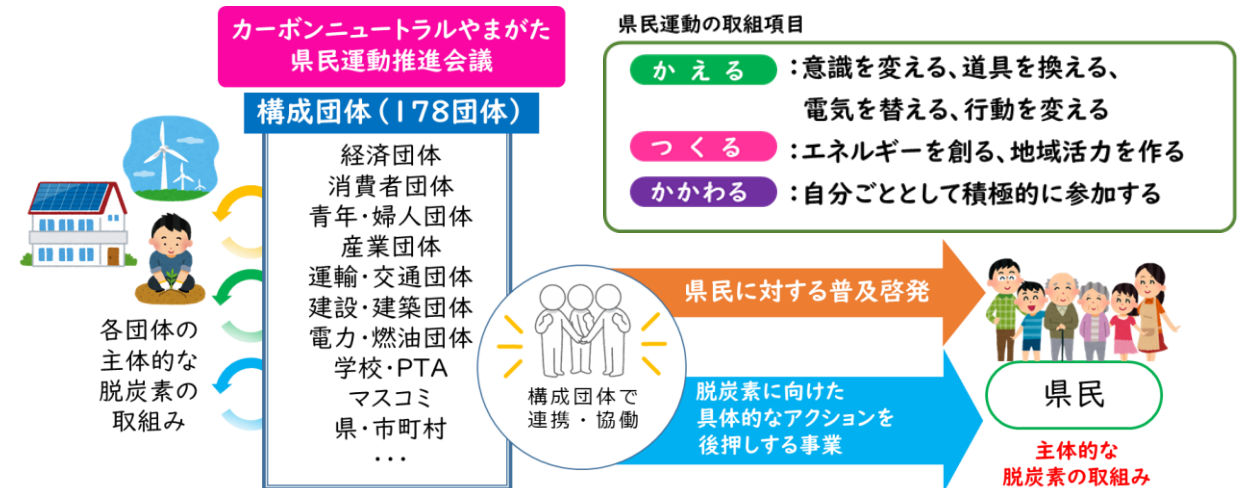
令和4年に、県民運動の推進組織として「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立

(3) カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

令和8年度は6月4日(木)に開催(於:ホテルメトロポリタン山形)



推進大会の様子(令和7年度)



2. 県民運動の主な事業（令和8年度）

かえる

①県民のCO2排出量の見える化等による脱炭素アクションの推進(通年)

拡充

- ・CO₂排出量可視化ツール「デカボMYスコア」を活用した県内イベント等での普及啓発を実施
- ・脱炭素型ライフスタイルへの行動変容を促すための県民向けツアーやSNS等を用いたキャンペーンを実施



②省エネ家電買換えキャンペーン(6月~12月)

家庭で使用している家電製品の買換えのため、キャンペーン期間中に対象店舗で対象製品を購入した方に賞品を交付



産業労働部と連携

③金融機関と連携した県内企業の脱炭素経営促進(7月~1月)

- ・脱炭素経営の必要性やメリットを伝えるセミナーを開催
- ・自社の脱炭素経営に向けた取組みを検討するための経営塾を金融機関との連携により開催



④水素エネルギーの利活用に関する実証事業(6月~)

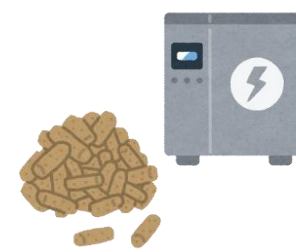
水素関連技術を用いた実証事業を支援し、水素の利活用を推進

つくる

⑤やまがた未来くるエネルギー補助金(4月~11月)

家庭や事業所が再エネ等設備を導入する場合、その経費の一部を補助

- 補助対象設備:
蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用空調装置・融雪装置



県土整備部と連携

⑥やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月~1月)

年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築するとともに、太陽光発電設備等を設置する場合、その経費の一部を補助

※「やまがた省エネ健康住宅」

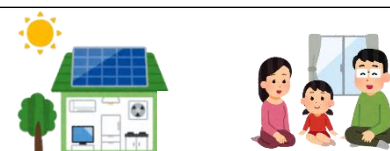
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも 室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



⑦山形県住宅用太陽光発電設備(自家消費型)導入事業費補助金(4月~1月)

新規

既設のやまがた省エネ健康住宅等へ太陽光発電設備を導入する場合、その経費の一部を補助



かかわる

教育局と連携

⑧小学生向け学習教材の配布(7月~)

脱炭素化の取組みをわかりやすく解説したガイドブックを作成・配布

⑨カーボンニュートラル標語・ポスターコンテスト(6月~9月)

「カーボンニュートラル実現への思い」を表現した標語やポスターを募集



⑩若者向け環境SDGsワークショップ等の開催(6月~)

県内の中学校以上の生徒、学生等を対象としたワークショップ及び活動発表会を開催



⑪学生環境ボランティアによる普及啓発(6月~)

県内の大学生等を学生環境ボランティアとして登録し、イベントへのブース出展や出前講座を実施

⑫やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会(7月~)

先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む市町村等と連携し、県内における横展開を図るための、足掛かりとなる勉強会を開催

1 はじめに ~地球温暖化とカーボンニュートラル~

(1) カーボンニュートラルとは

大気中に排出されるCO₂等の温室効果ガスの量から、森林等が吸収するCO₂等の温室効果ガスの量を差し引いて、全体を実質ゼロにすることです。

(2) なぜカーボンニュートラルが必要?

- ☑ 近年、集中豪雨など気象災害の頻発・激甚化
- 夏場の猛暑による熱中症リスクの増加

地球温暖化がその一因

温室効果ガス排出量の増加を抑え、
「豊かで美しい山形県」を未来に引き継いでいくために



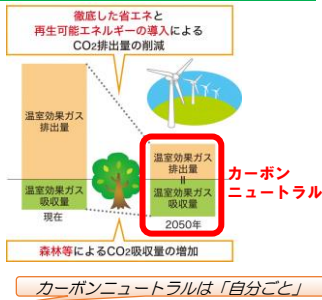
⇒ 2050年までにカーボンニュートラルの実現が必要!

- ☑ エネルギー価格をはじめ、物価高騰が急激に進行

脱炭素アクションは、環境だけでなく健康やお財布にも優しい行動

よりスマートで、質の高い暮らしにつなげていくために

⇒ 今すぐにも、脱炭素アクションを実践してみましょう!



(3) 山形県のカーボンニュートラル推進

令和2年8月 知事が「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言 **START**

基本理念 山形県脱炭素社会づくり条例 (愛称: さくらんぼ未来の地球(あす)を守る条例)

PLAN 基本計画 第4次山形県環境計画

ACTION 行動計画 **カーボンニュートラルやまがたアクションプラン**
推進体制 **カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議**



⇒ 県民総ぐるみの体制を整え、
県民運動として展開

2 アクションプランの基本的な考え方

(1) 策定の趣旨

持続的発展が可能な豊かで美しい山形県を目指して、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県民・事業者等が自主的かつ積極的に取り組むべき脱炭素アクションを明示し、それぞれの行動に結び付けるものです。

(2) 対象期間

令和8年度~令和12年度(5年間)

(3) 基本的な考え方

- ・ あらゆる分野について脱炭素型のライフスタイルへの転換を促し、浸透させていく
- ・ 当面は既存手法・技術を徹底活用しつつ、並行して新技術の導入も引き続き推進
- ・ 環境と成長の好循環を図り、地域の課題解決にもつなげていく

(4) プランのスキーム(取組みの柱とアクション主体)、アクションの方向性

徹底した省エネの推進 × 家庭(県民)
再生可能エネルギーの導入拡大 × 産業・事業(事業者)
その他のアクション × 公共分野(行政)



未来のために、
かえる: 意識を変える、道具を換える、電気を替える、行動を変える
つくる: エネルギーを創る、地域活力を作る
かかわる: 自分ごととして積極的に参加する
脱炭素アクションを
今、始めましょう

3 カーボンニュートラルやまがた「4つのキーアクション」と推進月間

数ある脱炭素アクションの中から、効果や波及性、取り組みやすさなどの観点で、特に取り組んでいただきたい4つのアクションを厳選しました。みんなでチャレンジしてみましょう!

◆ カーボンニュートラルやまがた「4つのキーアクション」

★CO₂の見える化 ~CO₂排出量やエネルギー費用の見える化は、アクションのはじめの一歩~

→ まずは県民向けの見える化ツールの活用や、省エネ診断の活用を通して、CO₂排出量やエネルギー費用を測定し、次の脱炭素アクションへつなげましょう。



★エコドライブの実践・エコカーの導入 ~ふんわりアクセルや、エコカーへの乗換えでさらにお得に~

→ 車を運転する際はエコドライブを当たり前に。さらに、環境にもお財布にも優しい電気自動車などのエコカー(次世代自動車)への買換えも検討しましょう。



★建物の断熱化・機器の省エネ化 ~高気密・高断熱化や機器更新で、光熱費を抑えつつ快適に~

→ リフォームや部分改修などで建物の断熱性能を高めるとともに、省エネ家電への買換えや高効率設備への更新を進め、光熱費を抑えつつ快適な暮らし・職場環境を実現しましょう。



★再エネ設備導入・再エネ由来電力への切替え ~再エネで未来を明るく~

→ CO₂排出削減に大きく貢献する再エネ設備導入を進めましょう。また、再エネ由来電力への切替えは、企業価値や魅力の向上にもつながります。



⇒ 具体的な脱炭素アクションは、別紙へ

◆ 6月は「カーボンニュートラルやまがた推進月間」

6月はさくらんぼをはじめ、山形の恵みがぐんぐん成長する時期。

この実り豊かな山形県を将来世代に引き継いでいくため、一人ひとりが「自分ごと」として振り返って考える月として、6月を推進月間に位置付けます。



4 推進体制と数値目標

(1) 推進体制

県では、令和4年5月、県、市町村、消費者団体、経済・産業界、農業界、交通・運輸業界、電力業界等の代表及び報道機関、教育機関等170を超える構成団体からなる「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立しました。

この推進会議を母体に、県民総ぐるみの県民運動を展開します。



令和7年度カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

(2) 数値目標 (第4次山形県環境計画と共通の数値目標)

項目	直近値 (2024(令和6)年)	目標値 (2030(令和12)年)
やまがた省エネ健康住宅の年間新築戸数	259戸/年	360戸/年
環境マネジメントシステム等に基づく取組みを行っている事業所	290事業所	800事業所
全登録車数に占める次世代自動車普及率	32.3%[144,948台]	50%[243,000台]
再造林面積	153ha/年	200ha/年
県内電力給需要量に対する県内で発電された再生可能エネルギーの割合	34.8%	43.4%